

<b>A008</b>	<b>特殊講義（教養E） 「京都の文化遺産とその保護～清水地域の防災への取り組み」</b>		
英名科目名	Protection of Cultural Heritage in Kyoto ~ Disaster Mitigation for Kiyomizu Area		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】 TEL：075-465-8310		
担当教員	大窪 健之		
開講期間	<p>5月20日（日） 13:00～16:00 キャンパスプラザ京都 全体オリエンテーション（他科目との合同授業）</p> <p>2018年9月6日（木）～9月9日（日）の連続する4日間 ・1日目 9:00～14:10@清水寺 ・2日目～3日目 9:00～16:00@清水寺 ・4日目 9:00～16:00@キャンパスプラザ京都演習室</p> <p>12月9日（日） 12：30～15：20 キャンパスプラザ京都 成果発表会（他科目との合同授業）</p> <p>一度受講登録を行い受講を認められた者は「必ず」受講してください。貴重な世界遺産のフィールドをお借りして学ばせていただく事になるため、登録したにもかかわらず出席しないことは認められません。</p>		
開講形態	夏期集中	開講曜日・講時	
単位数	2	履修年次	1回生以上
会場	キャンパスプラザ京都、他		
授業定員	30		
単位互換生定員	15	京カレッジ生定員	0
試験・評価方法	【平常点評価】出席状況、毎回出題されるミニレポートの内容と質、現地調査や成果発表の内容と質、災害対策へ向けたアイデアの独自性・実現性等を含めて、総合的に評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料			
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>シラパスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラパスを確認してください。</p> <p>【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 &lt;受講手続案内ホームページ&gt; <a href="http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html">http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html</a></p> <p>【受講時の行動規範】 本科目については、世界遺産所有者のご協力のもと開講されており、受講にあたっては特に担当教員及び世界遺産所有者の指導にもとづき行動するとともに、実習先の世界遺産におけるルールを順守すること。 また、原則として履修を許可された学生は最後まで受講すること。</p> <p>【京都世界遺産PBL科目内での重複受講】 本科目については、京都世界遺産PBL科目として共通に行われる授業や発表会もあり、科目の性質上、科目群の中での重複受講は困難です。京都世界遺産PBL科目内での重複受講は原則、認められません。</p>		

	ん。
パッケージ科目	
低回生受講推奨科目	
講義概要・到達目標	
<p>【授業の概要】 この科目は、キャンパスプラザ京都（京都駅近く）などの学外施設等で開講し、立命館大学では開講しません。 キャンパスプラザ京都の時間割は立命館大学の時間割と異なりますので、必ず確認するようにしてください。 履修の際には、キャンパスプラザ京都までの移動時間も考慮するように注意してください。</p> <p>世界文化遺産である清水寺は、年間400万人を超える参拝者があり、日本を代表する寺院である。本プログラムでは、この貴重な文化遺産を守るために取り組まれている活動や設備について、座学とフィールドワークで学ぶ。 例えば、清水寺では文化財等を維持管理し、火災等の災害から守ることを主な目的として、昭和18年頃から寺関係者が自主的な巡回警備等を実施していた。その後、昭和23年から門前町の有志の人々が集まり、巡回警備等に加わり、清水寺警備団が結成され、現在に至っている。 また、地震による大火から守るために、京都市が平成18年度から国宝や重要文化財が集積する東山区清水・弥栄地域において、全国最大規模の耐震型防火水槽や、誰もが容易に使用できる市民用消火栓等を整備し、地域力を最大限に発揮して防災力を強化する「文化財と地域を守る防災水利整備事業」を展開している。 フィールドワークでは、清水寺の文化財の価値について僧侶から説明を受け、実際に見学を行う。また、門前町の清水寺警備団の方から活動内容や成功の秘訣、現在の課題についてヒアリングを行う。地域の地震火災対策のための防災水利整備事業については、その整備の効果やメリットを学ぶとともに、整備に至った「地域ぐるみ」の取組みの経緯についても学ぶ。 以上の学習内容を念頭に置いて、グループごとに境内と周辺地域のフィールドサーベイを行い、防災上の課題について災害図上訓練（歴防DIG）を通して抽出する。 最終的に、災害図上訓練で得た内容を整理して発表し、対策のアイデアについて関係者に提案する。</p> <p>主要な授業は「夏季休暇期間」の4日間で集中的に実施しますが、本科目はキャンパスプラザ京都「世界遺産PBL科目」に位置づけられますので、事前の社会調査手法に関する講義や、事後の合同成果発表会への参加が推奨されます。</p> <p>【到達目標】 文化遺産とこれを取り巻く歴史地域の価値と重要性を理解する。文化遺産を守り、次世代へと伝えることの実情と難しさを学ぶ。文化遺産を核とした地域の災害危険性について、幅広い観点から調査し考察を深める。文化遺産を核とした地域の災害対策のあり方について、具体的な検討を行える能力を身につける。</p> <p>【事前に履修しておくことが望まれる科目】 歴史、文化財、都市計画、防災計画、コミュニティ開発、観光政策を中心に、幅広い基礎知識を習得しておくことが望ましい。</p> <p>【受講および研究に関するアドバイス】 災害対策には、災害が発生した場合の状況をどこまで具体的にイメージできるかが重要です。清水寺とその周辺の歴史地域がおかれている状況を理解するとともに、想像力をふくらませて災害時に起こりうる事象を想像し、何が必要か、何をすべきか、状況に応じて柔軟に対処できる思考能力と対策へ向けた創造性を磨いて下さい。</p> <p>【参考になる WWW ページ】 清水寺 <a href="http://www.kiyomizudera.or.jp/">http://www.kiyomizudera.or.jp/</a> 立命館大学歴史都市防災研究所 <a href="http://www.r-dmuch.jp/">http://www.r-dmuch.jp/</a> 明日の京都・文化遺産プラットフォーム <a href="http://tomorrows-kyoto.jp/">http://tomorrows-kyoto.jp/</a></p> <p>【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】 学生との直接対話</p>	
講義スケジュール	
1～4	

<p>【テーマ】  ガイダンス  文化遺産と歴史都市を災害から守るために  清水寺の歴史について</p> <p>【キーワード】  清水寺境内の文化遺産について(境内の見学)  文化財の保存修復について(修復現場の見学)</p> <p>5 ~ 8</p> <p>【テーマ】  清水寺と災害の歴史について  清水寺の災害対策について</p> <p>【キーワード】  防災設備の種類と働き(防災設備の見学)  防災設備の種類と働き(防災設備のデモンストレーション)</p> <p>9 ~ 12</p> <p>【テーマ】  清水寺自警団の取り組みについて  清水周辺地域の地震火災対策について</p> <p>【キーワード】  防災水利整備事業の概要(地域の防災設備の見学)  清水寺とその周辺地域の災害危険性調査(フィールドワーク)  災害図上訓練(歴防DIG)の演習</p> <p>13 ~ 15</p> <p>【テーマ】清水寺とその周辺地域の災害危険性の整理  清水寺とその周辺地域の災害対策の提案</p> <p>【キーワード】  グループ別災害図上訓練の演習  グループ別成果発表会  最終成果発表会へ向けた全体討論</p>	
教科書	適宜、レジュメや資料、視聴覚教材などを提示します。
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史に学ぶ減災の知恵 大窪健之 学芸出版社</li> <li>・ 『テキスト 文化遺産防災学』 立命館大学「テキスト文化遺産防災学」刊行委員会 学芸出版社</li> <li>・ 『文化遺産防災学「ことはじめ」篇 立命館大学文化遺産防災学「ことはじめ」篇出版委員会 アドスリー</li> </ul>